



きょう200平予選

今井「世界に爪痕残す」

福岡市で行われている水泳の世界選手権で、6年ぶりに代表入りした競泳女子の今井月(パロ・H・D)が27日、200メートル平泳ぎの予選に出場する。優勝すればパリ五輪出場が内定する大舞台。決戦の前に「自分の平泳

世界選手権への意気込みを語る今井月＝長野県内

ぎがどこまで世界に通用するのか、すごく楽しみ」と胸を躍らせる。どれほど待ち焦がれた舞台だろう。初めて代表入りを果たしたのは、高校1年で出場した2016年のリオデジャネイロ五輪。当時は200メートル個人メドレーを主戦場としていたが「自分の心の中には平泳ぎをやりたい気持ちがあった。複雑な思いで世界大会に臨むことが多かったのが高校時代」と顧みる。リオでは準決勝で敗退し、その後も体の成長と泳ぎがかみ合わない影響などが出てタイムが停滞。17年の世界選手権を最後に代表の座から遠ざかり、東京五輪出

場も逃していた。

転機は21年秋。練習拠点を東京ドームスポーツに変え、平泳ぎ一本に絞った。今年4月の日本選手権では200メートル平泳ぎを2分22秒98の自己新記録で制し、世界切符を獲得。「復活」をアピールした。「今は平泳ぎ一本に絞って迷いなくやっているのが大きい」と今井。「この種目で代表入りできたことが何よりもうれしい」と語る。

今大会には4月に2分17秒55の世界新記録を樹立したエフゲニア・チクノワ(ロシア)こそ出場しないが、決勝の優勝タイムは2分20、21秒台が見込まれる。「まずは準決勝で2分21秒台に乗せるのが目標。しっかり世界に爪痕を残したい」。6年間の思いを世界にぶつける。

(浜田悠)